

玉

之浦町に昨年、ゲストハウスが誕生した。営んでいるのはヒロセマナミさんと近藤萌さん。どちらも神奈川県生まれ、美大の元同級生だという。

ヒロセさんは大学の時に旅行で訪れた長崎をとても気に入って、卒業後、地域おこし協力隊として五島市へやってきた。

三年間、過疎化が進む玉之浦地区の集落でイベントの手伝いをしたり、地域が永く続いていくような仕掛け・土台づくりに尽力した。その間、都会から遊びに来た友人や家族に自分を通して島を紹介するのが楽しいと感じたヒロセさんは、協力隊の任期終了後、「島と旅人をつなぐ宿なら、私にもできるかも!」とゲストハウスのオープンを決意。その際「ゆかりのある玉之浦の玄関口で始めたい」とこの場所に決めた。

ヒロセさんを訪ねて、ときどき島に遊びに来ていた近藤さんは二年前に「他の場所で生きてみたい」と来島。ヒロセさんと共にゲストハウスを立ち上げる事となった。

二人は友人や地元の大工さんたちの手を借りながら、約四カ月をかけて、築九十年の古民家をリノベーション。温かな雰囲気仕上がりになった宿を「ネドコロノラ」と名付けた。「ノラは漢字で書く

と、野良。辞書で調べると『仕事をもたず、あえて遊び暮らすこと。またはその人』などがありました。どうせするならば、仕事も遊びも楽しみたい!と思っていましたし、ゲストハウスに集まる人ってあちこち旅している人も多いので」とヒロセさん。ちなみに「ネドコロ」は「寝処」。

「ネドコロノラ」ではヨガ教室や料理イベントなども開催しており、地域の人たちの交流の場にもなっている。「ゲストさんと近所の人仲良くなると、一緒に出かけることもあるんですよ」と二人は楽しそうに笑う。

都会生まれ、都会育ちの二人は、すっかり島になじんでいる。「この島の魅力は、やりたいことを始めたら、地域の人たちが皆、協力してくれるところ。それは普段の暮らしも同じで、野菜や魚をいただいたり、「料理が余ったから取りおいで〜」と近所さんに声をかけてもらったり。ありがたいですね」とヒロセさん。

二人は「仕事のために人生を犠牲にしたいくない。楽しく暮らしたいんです」と口をそろえる。島でのチャレンジは大変なこと多いはずだ。しかし彼女たちは、それを笑顔でひらりとかわしているように見えた。島には確かに新しい風が吹いている。

島を楽しむ
3つの旅
新たな島の
魅力をめぐるコース
ゲスト
ハウス編
3

小さな港町にある ほっこり ゲストハウス



ゲストハウスを営むヒロセさん(右)と近藤さん(左)。穏やかでほんわかとした雰囲気が居心地の良い宿を作り上げている。



ネドコロ ノラ
五島市玉之浦町荒川1274-4
TEL.080-2789-4846
(10:00~17:00)

ネドコロ ノラ 検索



こうしたゲストハウスならではの光景にもほっこり。

